



小さな高校の大きな地域貢献

新庄南高金山校生徒会がボランティア活動

自分ができることを確実に

4月25日、新庄南高金山校生徒会の堀実玖さん（3年・下野明）ら3名が役場を訪れ、平成28年熊本地震への災害義援金14,842円を日本赤十字社山形県支部金山町分区へ寄託されました。

「熊本地震が起きたことをニュースで知り、何かできることがないか考えた。」と話す生徒会長の堀さん。すぐに行動に移し、地震発生の翌日から、校内で募金を呼び掛けたそうです。「私たちのできることは小さいことかもしれないが、できることを確実にしていきたい。」という力強い堀さんの言葉からは、今年度の生徒会活動方針のとおり「金山校プライド」を感じました。



生徒会長
堀 実玖さん

下記の「活動方針」を掲げ活動している新庄南高金山校の生徒会。実はボランティアをはじめ、様々な活動を実施しています。ここでは、活動の一部を紹介します。

目に見えない復興がある

東日本大震災直後の平成23年4月23日。当時金山高校の生徒会が、宮城県石巻市で、がれきの撤去のボランティアを実施しました。以降、新庄南高金山校となった現在に至るまで計8回にわたり、清掃や漁師の方の作業の手伝いなど、被災現場で支援活動を行っています。

「同じ東北で被災した人々の役に立つことで、共生の意識を育み、自らの生き方を考えるきっかけとしたかった。」と話す結城先生。

その思いに応えるように、生徒会の皆さんも自主的に活動しています。堀さんは、活動を通して「手伝えることだけがボラン

ティアではない。お話をしながら、被災者の方に寄り添うことが大事。目に見えるものが元に戻るだけでは復興ではない。」と気づいたそうです。人と人との繋がりを大切にして、この活動は今後も継続する予定です。

もちろん町内での活動も実施しています。5月9日から3日間、初の試みとして、金山校生徒会と合同でのマナーアップ運動を行いました。七日町T字路など町内3ヶ所ですわやかな挨拶とともに、交通マナーの向上を呼びかけました。

今後多くさんの活動をしていきたいという生徒会の皆さんの活躍を大いに期待します。

平成28年度 生徒会活動方針

COLOR

1. 金山校プライド!!

- 服装や携帯マナーなど、基本的なルール保持の徹底。
- 生徒1人1人がよりいっそう活躍できる生徒会活動をめざす。
- 自分たちで確実にできることを主体的に計画し実行する。
- 各種委員会と連携して、マナーアップを図る。

2. 生徒会報

- 毎月末に発行する。また、行事の後などは号外を作成し、発行する。(月初めの生徒会集会受到けて、その月の活動を振り返る。)

3. ボランティア活動

- 生徒会企画のボランティアを計画し実施する。(中高合同ボランティア・本校との合同企画の検討)
- 学校全体だけでなく個人で出来る事を考え行動する。

4. その他

- 学校説明会での生徒会企画を充実させる。
- 中高挨拶運動などを企画、実行する。
- 本校生徒会との交流を積極的に図る。(学校祭への相互参加など)
- 学校行事(学校祭など)の地域への情報提供に協力する。



中高合同マナーアップ活動での様子